

平成30年度
八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科
一般入学試験（前期日程）

小 論 文

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 筆記用具は黒色の鉛筆またはシャープペンシルを使用すること。
3. 問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁に気付いたときは、手を挙げて監督者に知らせること。
4. 問題冊子の余白等は適宜利用してよい。
5. 問題冊子は持ち帰ってよい。

平成 30 年度健康医療学部人間健康学科一般前期小論文試験問題

男性に占める既婚者の割合は年収が 300 万円を下回ると大きく低下することが、内閣府が 11 日発表した「結婚・家族形成に関する調査」の結果から分かった。年収や雇用形態が結婚に大きな影響を与えていることをうかがわせる結果で、同府は「雇用面での支援に国として取り組んでいく」としている。

調査結果によると、年収 300 万円未満の層では男性の既婚者は 20 代で 8.7%、30 代で 9.3%にとどまった。年収 300 万円以上 400 万円未満の層ではそれぞれ 25.7%、26.5%で、年収 300 万円を境に大きな差が出た。雇用形態別にみると、正規雇用の 20 代男性の既婚率は 25.5%なのに対し、非正規雇用では 4.1%。30 代男性でも正規雇用は 29.3%、非正規は 5.6%だった（以下略）。

（日本経済新聞 2011.5.11 電子版より引用）

問題

年収や雇用形態が男性の未婚率に關与する理由について、あなたなりの意見を加えて 600-800 字程度で論じてください。このとき、結婚は一人でするものではないことから、両性それぞれの視点から論じてください。